Combi

施設用ベビーカー SC41

取扱説明書

⚠ 注 意

〈取扱説明書の保管について〉

- ●誤った使用方法の場合、お子さまが傷を負う可能性がありますので、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ●本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- ●本製品を他者にお譲りになるときには、必ず本書も合わせてお渡しください。

目　次

●ご使用の前に……1
●安全にお使いいただくために……1
⚠警告……1
⚠注意……3
●取り扱い・使用説明
各部の名称……4
開きかた……4
折りたたみ方法……5
折りたためないようにするには……5
リクライニングの使いかた……6
キャスターの使いかた……6
ストッパーの使いかた……6
フロントガードの使いかた……7
カゴの使いかた……7
シートベルト（股・腰・肩ベルト）の使いかた…8
足のせバーの使いかた……10
アームレストカバーの使いかた……10
着脱シートのはずしかた……11
ガードカバーのはずしかた……12
幌の使いかた……12
保管のしかた……12
●日常のお手入れ方法
車体、着脱シート、ガードカバー、カゴの清掃…13
注油について……13
●点検・修理・交換部品について
日常点検の確認方法……13
修理について……14
交換部品について……14
●製品仕様……14
●保証書……15
●お問い合わせ先……15

114986020　1102(3)

ご使用の前に

●この製品は施設内で乳幼児を乗せ、買い物などに使用するための１人乗り乳母車（ベビーカー）です。

●対象年齢：生後１ヵ月以上２才まで

※生後１ヵ月とは、出生時に体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上を満たし、１ヵ月経過した乳児を示します。

●望ましい連続使用時間：1 時間以内

安全にお使いいただくために

●施設用ベビーカーを使用する上で、ご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者である利用者の方に重大な損害を与えるおそれがあります。よくお読みの上、利用者に正しく使って頂けるようご配慮お願いします。

●注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いの結果生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、誤った取り扱いをしている利用者がいたらすぐに注意してください。

⚠ 警 告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

⚠ 注 意

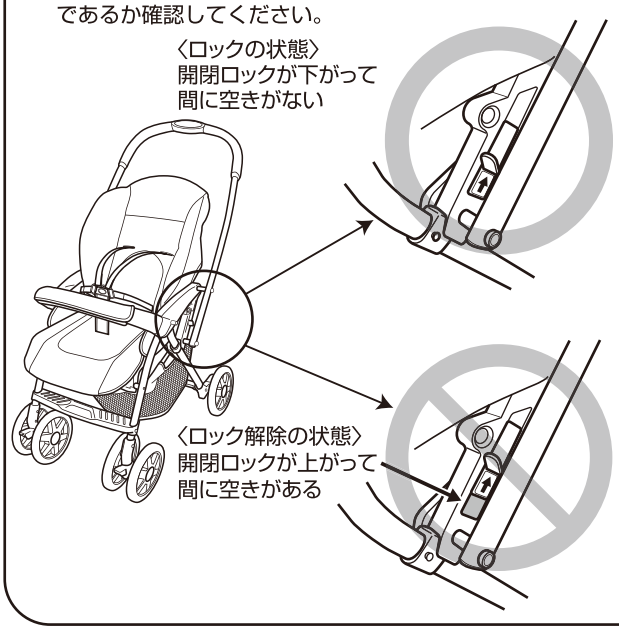
誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

禁止の行為であることを示すものです。

⚠ 警 告

●完全に開いていない状態では使用しない

※折りたたみレバーがロックされ、完全に開いた状態であるか確認してください。



ベビーカーが転倒してお子さまが

●2人乗りやお子さまをシート以外のところに乗せない

※ベビーカーは１人乗りです。シート以外の場所には乗せないでください。

●使用中、ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけない

※車輪を床につけ、過度の荷重をかけないでください。

取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちるおそれがあります

●階段やエスカレーターで使用しない

※段差などのあるところでは使用しないでください。

●お子さまを乗せたままベビーカーを持ち上げない

※手がすべったり、フロントガードがはずれて落下するおそれがあります。

●シートベルト股、腰、肩）をはずしたまま使用しない

※シートベルトを必ずしっかりと締めてください。

●破損や異常が発生したらすぐに使用を中止してください

※他のベビーカーと交換してください。そのまま使用しますと重大な事故につながるおそれがあります。
15ページのお問い合わせ先へご連絡ください。

●お子さまをベビーカーの上で立たせない

※必ず座らせて使用してください。

落ちるおそれがあります

●カゴ以外のところに荷物を乗せたりつるしたりしない

※荷物はカゴに入れるようにしてください。
（幌付きタイプの場合、幌の上に荷物を乗せないでください。）

ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります

●お子さまや乳幼児を乗せたままベビーカーから離れない

※お子さまや荷物を乗せたときは、ストッパーを過信せず、目を離さないでください。

●エレベーターや階段に近い場所にベビーカーを置かない

※空車であっても危険な場所に放置しないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 注 意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

●お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。
目的外の使用では破損などのおそれがあります。

●着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。
すき間に手や足などをはさむおそれがあります。

●お子さまにベビーカーを操作させないでください。
転倒や思わぬ事故につながります。

●ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。
指をはさんだりするおそれがあります。

●お子さまの乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。
ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下するおそれがあります。

●フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。
破損のおそれがあります。

●フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。

●お子さまを乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落下するおそれがあります。

●お座りができないお子さまの場合は、リクライニングを倒した状態でご使用ください。（6 ページ参照）

●リクライニングを一番倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、リクライニングを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用方法は寄りかかってお座りができるお子さまに限ります。

●お子さまの頭がヘッドレストに当たる場合は、リクライニングを 1 番倒した状態で使用しないでください。

●ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。
破損、故障の原因となります。

●ベビーカーを押すときは走らないでください。
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。

●キャスターロックレバーは、ベビーカーを押す方向に向けて、ロックしてください。
キャスターをロックする位置を間違えて使用すると、押しづらいだけでなく、故障の原因となります。

●ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。
破損の原因となります。

●買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。
破損の原因となります。

● 3cm 以上の段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。

●危険ですから、むやみに改造、分解をしないでください。

＜屋外でご使用される場合＞

●路面に溝があるときは、溝に車輪を取られたり、挟まないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。

●雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。

●風の強いときには使用しないでください。
勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。

●雷のときは使用しないでください。
落雷のおそれがあります。

●夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。

＜保管方法＞

※誤った保管をされると、火災や変形等故障の原因となります。

●火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。
故障や変形の原因となります。

●湿気やほこりの多い場所での保管は避けてください。

●ベビーカーを重ねたり横にしたり、圧力が加わる状態で保管しないでください。
故障や変形の原因となります。

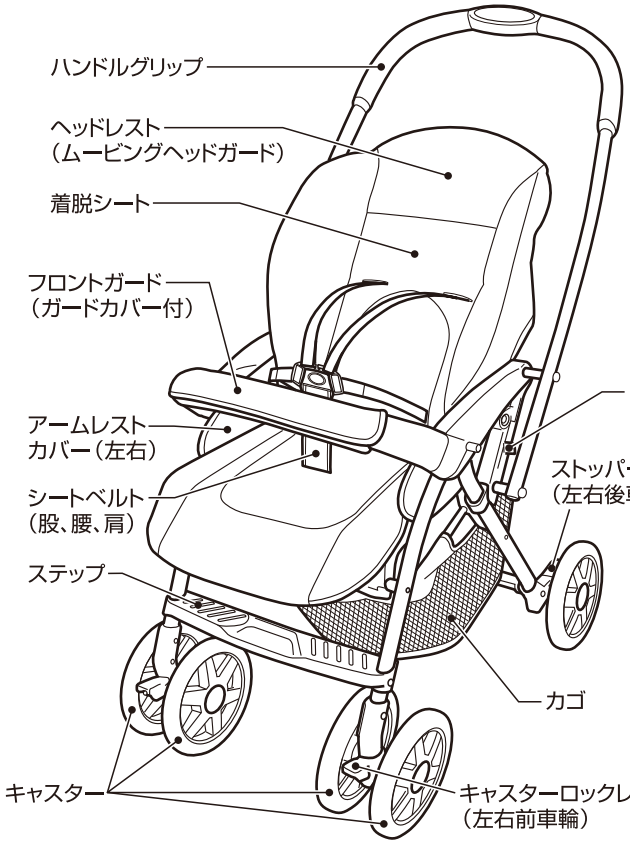
●ベビーカーを折りたたまないで保管する場合は、折りたたみ機構が使えないように付属のテープで固定してください。

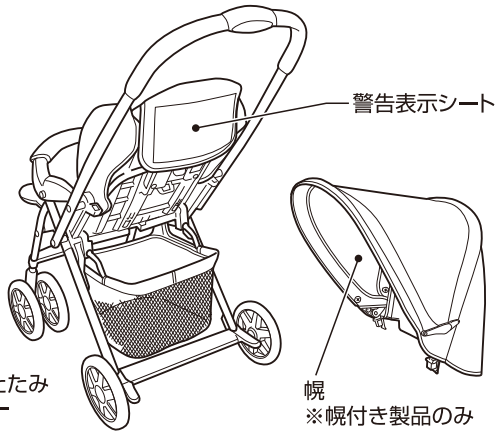
〈5 ページ参照〉

取り扱い・使用説明

各部の名称

箱から取り出しましたら、各部品がそろっているかご確認ください。



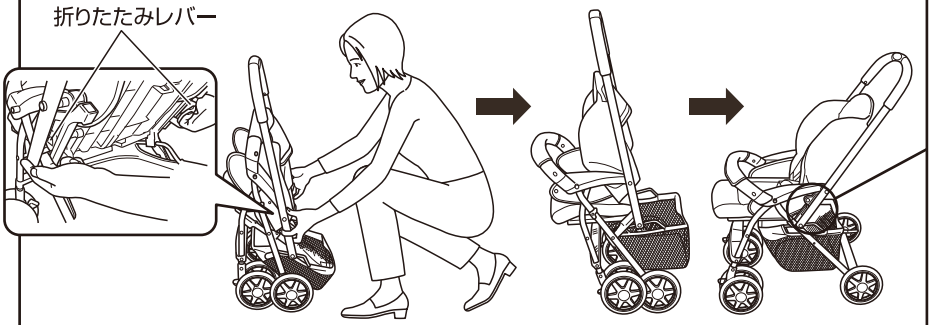


付　属　品

1.本書（取扱説明書／保証書付き）
2.折りたたみ防止テープ（2枚）
※折りたたまない仕様にするとき、
矢印ステッカーの上に巻きつけます。
〈5ページ参照〉

開きかた

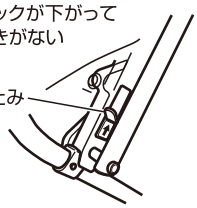
本体後ろ側より左右の折りたたみレバー（矢印ステッカーの上）を指で持ち上げて開きます。



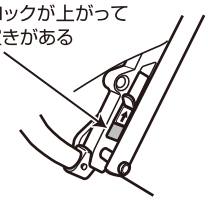
※盗難防止用に開閉操作は見やすい位置に設定しておりませんのでご了承ください。

●折りたたみレバーのロック状態を確認してください。

〈ロックの状態〉
開閉ロックが下がって
間に空きがない



〈ロック解除の状態〉
開閉ロックが上がって
間に空きがある



⚠警告	●必ず折りたたみレバーがロックされていることを確認の上、ご使用ください。 急に折りたたまれるおそれがあります。
⚠注意	●開くときは他の人やお子さまを近づけないでください。手や指をはさむおそれがあります。 ●お子さまに操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

折りたたみ方法

※折りたたみ機構をテープで固定した場合（下記参照）折りたためません。

折りたたむ前に下記の操作を行ってください。

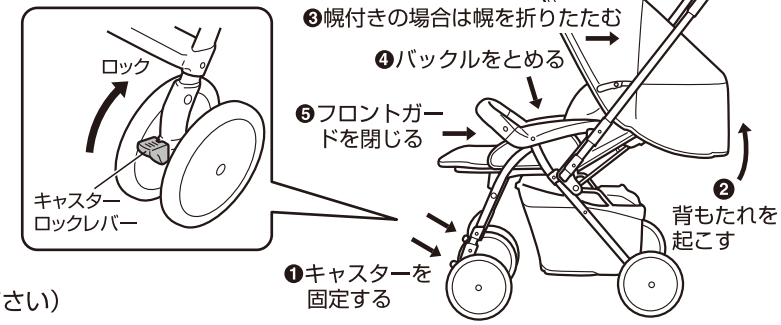
❶キャスターをロックしてください。このとき、キャスターの向きは図のようにします。

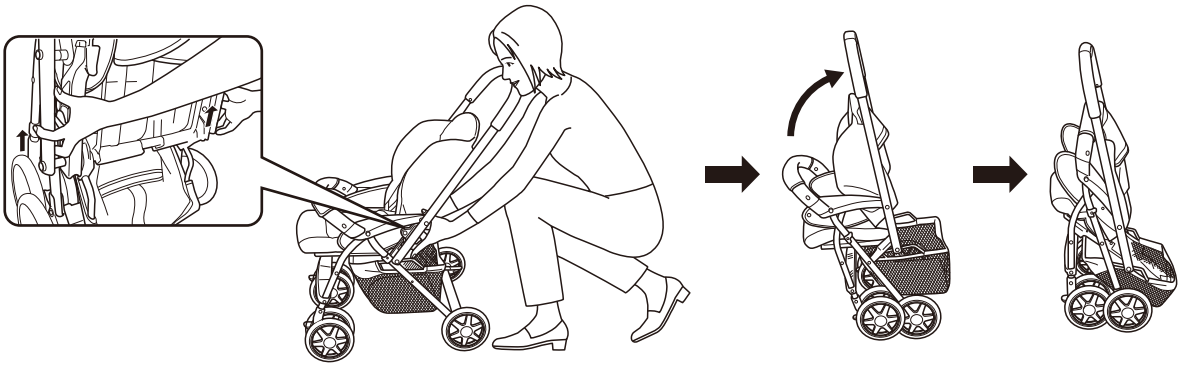
❷背もたれを一番起こした位置にします。（6ページをご参照ください）

❸幌付き場合は幌をたたみます。（12ページをご参照ください）

❹シートベルトのバックルをとめてください。（8ページをご参照ください）

❺フロントガードを閉じてください。（7ページをご参照ください）





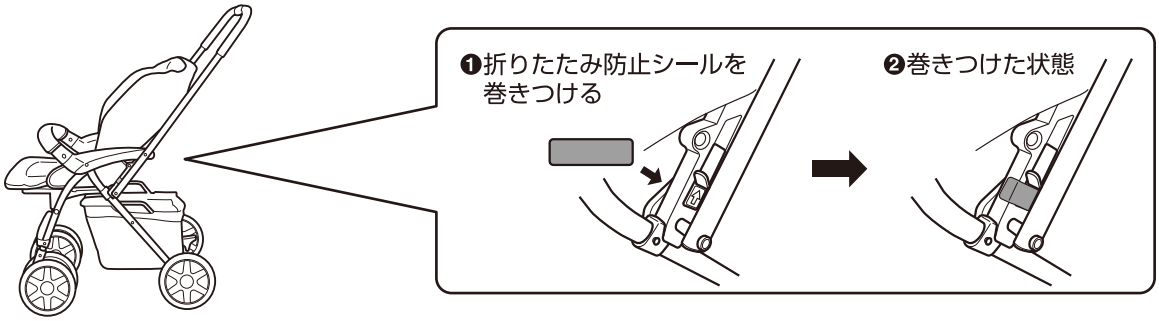
⚠ 注 意	●折りたたむことができない場合には、一度開いて何か引っかかっていたりはさみ込まれていないか確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。 ●折りたたむ前に、カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。

折りたためないようにするには

本製品は折りたためないようにすることができます。折りたたんで収納する必要がない場合は、折りたたみ機構をテープで固定してください。

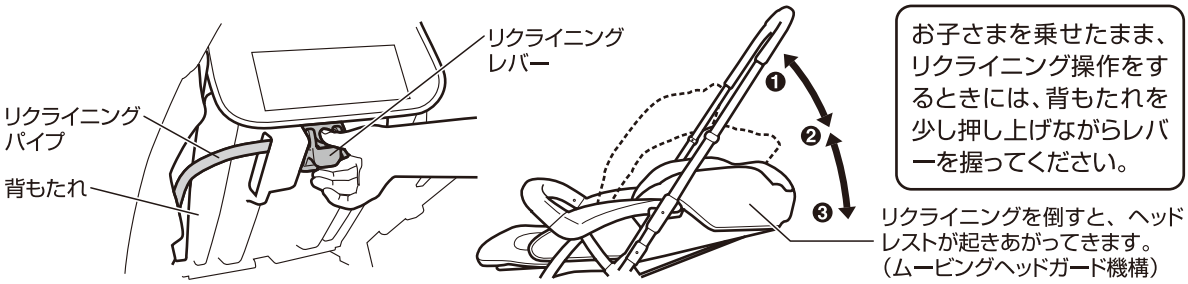
❶折りたたみレバー下部の矢印ステッカーに付属の折りたたみ防止テープを左右 2ヵ所とも巻きつけます。

❷折りたたみレバーが上がらず、折りたたみ操作ができないことを確認してください。



リクライニングの使いかた

リクライニングレバーを指で起こしながら、背もたれの角度を変えます。角度調節は３段階です。
お子さまを乗せてリクライニングを操作をするときは、できるだけゆっくり静かに行ってください。
特に背もたれを倒すときには、急に角度が変わらないように十分ご注意ください。

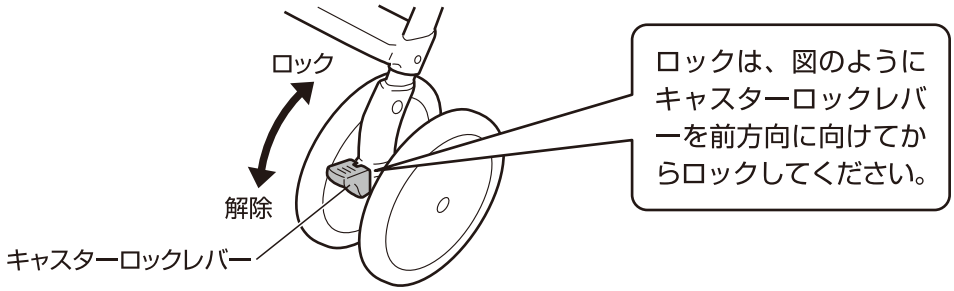


⚠ 注 意	●危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。 ●リクライニングパイプと背もたれの間に指をはさまないよう十分ご注意ください。

キャスターの使いかた

※前輪にはキャスターロックレバーがついています。

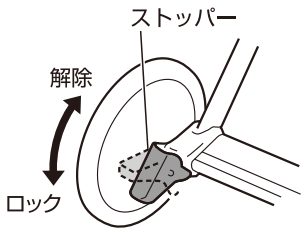
キャスターロックレバーを下げればロックが解除され、方向が自由に変えられます。
平たんな路面を押すとき、前輪の向きが変わり、方向転換がしやすくなります。



ストッパーの使いかた

※ストッパーは左右の後輪内側についています。

●ストッパーを下げるとストッパーのロックがかかります。
ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーが正しくかかっているか確認してください。
●解除するときはストッパーを上げてください。



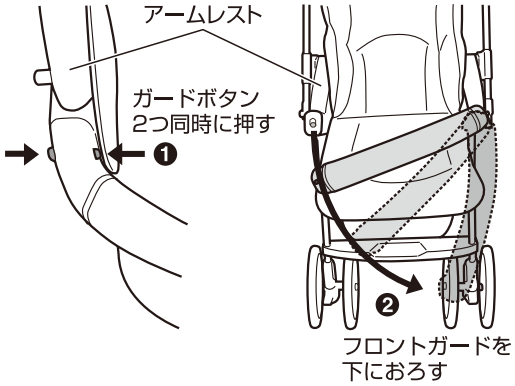
⚠ 警 告	●ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。 ●お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。
⚠ 注 意	●空車であってもベビーカーから離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてくだい。ストッパーが不完全ですと動き出すことがあります。

フロントガードの使いかた

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず、乗せ降ろしが楽にできます。

フロントガードの取りはずしかた

❶フロントガード向かって左端の外側と内側２つのガードボタンを同時に押し、アームレストからフロントガードを引き抜きます。
❷フロントガードを持って、下に降ろします。



フロントガードの取り付けかた

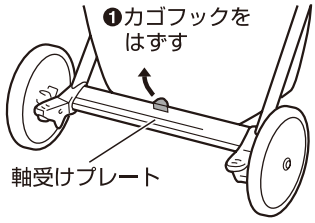
●フロントガードをアームレスト先端の凸部にカチッと音がするまでしっかりと差し込みます。
確実に固定されたか引っぱって確認してください。

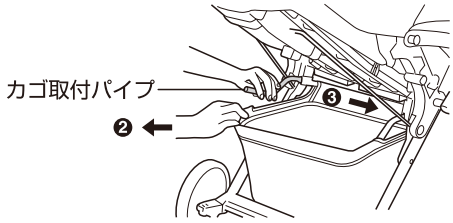
⚠ 警 告	●フロントガードに関係なくお子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードは抜け出しや立ち上がりを防ぐものではありません。
⚠ 注 意	●フロントガードが確実に取り付けられたか必ず確認してください。 ●お子さまの乗せ降ろし時以外は、必ずフロントガードは閉じてください。すき間に手を入れると危険です。また、破損の原因ともなります。 ●フロントガードが確実にロックされたか必ず確認してください。ロックが不完全ですと使用中に開いてしまうおそれがあります。 ●フロントガードをつかんで持ち運ぶことは、お子さまを乗せているときはもちろん、空車のときであっても避けてください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりすると危険です。

カゴの使いかた

取りはずしかた

❶カゴフックを軸受けプレートからはずします。
❷カゴ取付パイプの後部を、手で支え矢印❷の方向にカゴを引き抜きます。
❸次ぎに矢印❸の方向にカゴを引き抜きます。





取り付けかた

●取りはずしかたの逆の手順で、取り付けてください。

荷物について

できるだけカゴ底に均等にのせてください。リクライニング操作に支障のない高さにしてください。
ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になりますから、折りたたむときには荷物を取り出してください。

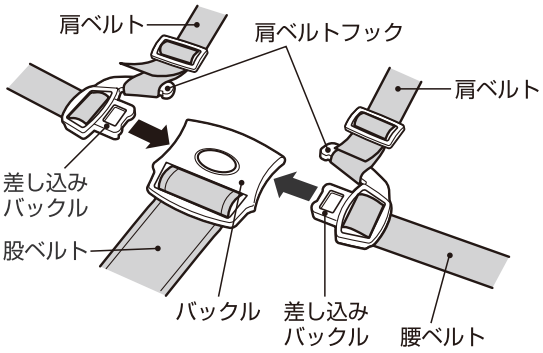
⚠ 注 意	●5kg 以上の荷物は載せないでください。破損の原因となります。 ●角のとがったものは載せないでください。カゴ底面部の破れの原因となります。

シートベルト（股・腰・肩ベルト）の使いかた

シートベルトとは、股ベルトと腰ベルト、肩ベルトの総称です。

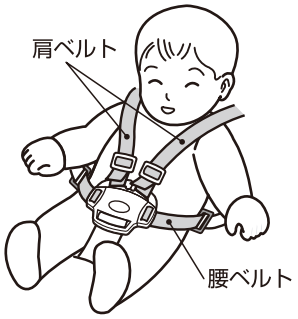
シートベルトの締めかた

1．肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック（左右）に引っかける。
2．股ベルトを引き出し、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。
3．肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。



お子さまへの装着のしかた

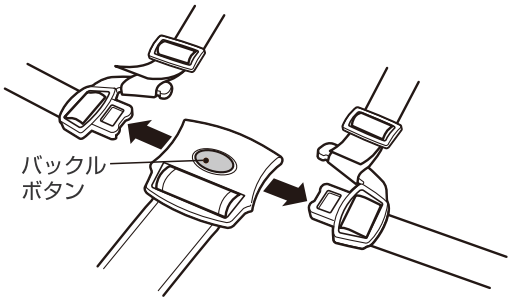
1．お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトを合わせる。
2．肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック（左右）に引っかけ、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。



シートベルトのはずしかた

股ベルトのバックルボタンを押すと腰ベルトがはずれます。

●長さ調節時にバックルをはずしたちきは、図にしたがって確実に取り付けてください。取り付けかたが不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。

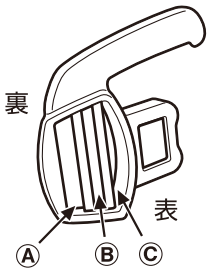


⚠ 警 告	●お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。 ●シートベルトの長さはお子さまの体に合わせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。 ●肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

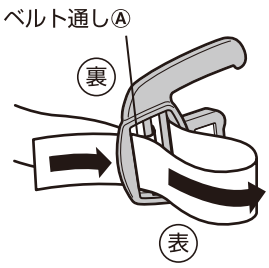
シートベルトの調節のしかた

腰ベルトの長さ調節

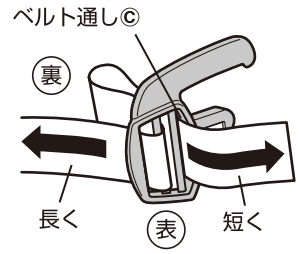
差し込みバックルのベルト通し（ⒶⒷⒸ）



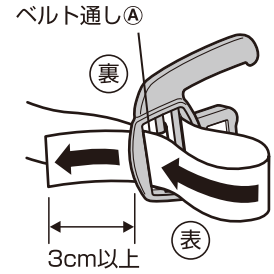
1.バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶからはずす。



2.腰ベルトを左右にひっぱり、ベルトの長さを調節する。



3.バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通す。



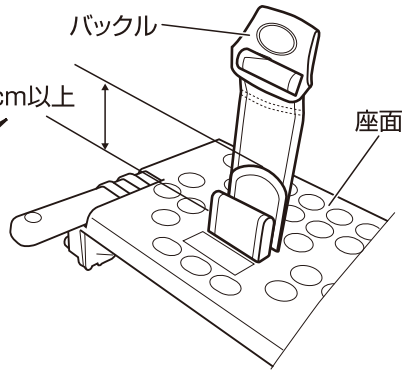
腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

こんなときは？

ベルトの調節の目安がわからない
→お子さまとベルトの間に、大人の指の第２関節が入るくらいのすき間が目安です。

股ベルトの長さ調節

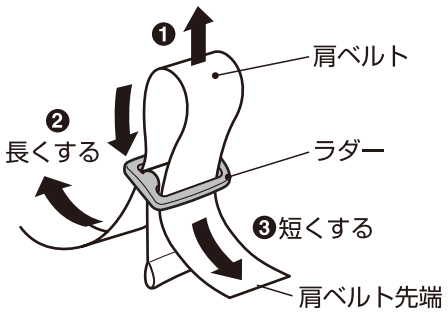
股ベルトの長さを調整するには、座面側の着脱シートをめくって、図のようにベルトを調整してください。
※バックルは股ベルトから、取りはずしできません。



股ベルトの長さは、ベルトの端が5cm以上残るように調節してください。

肩ベルトの長さ調節

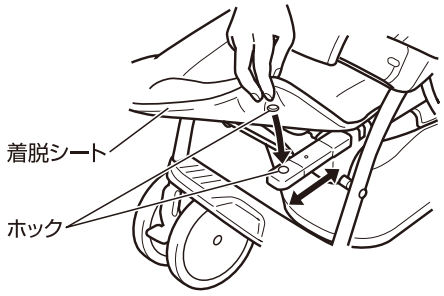
肩ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、❷の方向に引っぱり、短くするときには、❸の方向に引っぱる。
※ラダーは肩ベルトから、取りはずしできません。



足のせバーの使いかた

足のせバーを出していると、お子さまが寝たとき、楽な姿勢で眠れます。

使用するときは、着脱シートを持ち上げ、座面にある足のせバーを前端で止まるまで引き出します。
着脱シートをのせ必ずホックをとめます。
使用しないときは、着脱シートのホックをはずし、足のせバーを座面の中に押し込みます。



⚠ 注 意	●使用するときは、必ずホックをとめてください。破損やお子さまのけがの原因となります。

アームレストカバーの使いかた

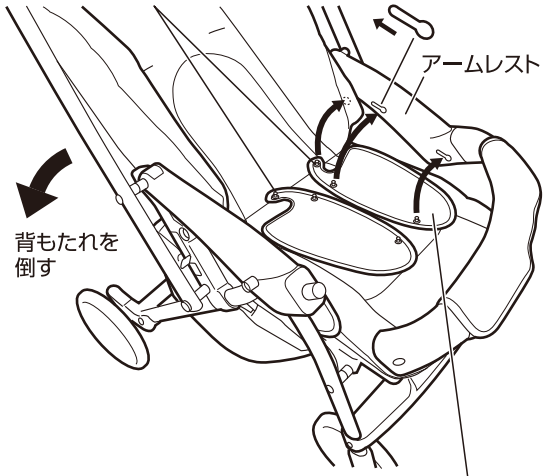
アームレストカバーは必ず取り付けて使用してください。

取りはずしかた

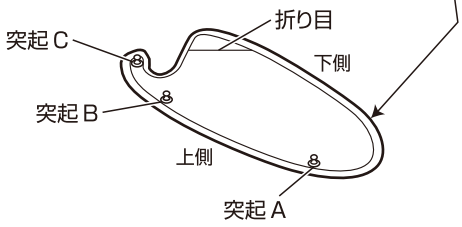
背もたれをいちばん倒した角度にします。
❶Cの突起をはずします。（車体内側）
❷アームレストカバーを前方にずらします。
❸A/B2つの「突起」を内側に引っ張ってはずします。

取り付けかた

背もたれをいちばん倒した角度にします。
❶イラストを参考に、アームレストカバーの左右を確認します。
❷A/B2つの「突起」をアームレスト前側の穴2ヵ所の孔の大きい部分にそれぞれ差し込みます。
❸アームレストカバーを後方にずらします。
❹Cの突起をアームレストに押し込みます。
ゆっくり背もたれを上げ、背もたれの側面に引っかからないことを確認してください。



アームレストカバー（裏側）



⚠ 注 意	●アームレストカバーを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。 ●やぶれやほつれの発生したアームレストカバーはそのまま使用しないでください。中のウレタンをお子さまが飲み込むおそれがあります。

着脱シートのはずしかた

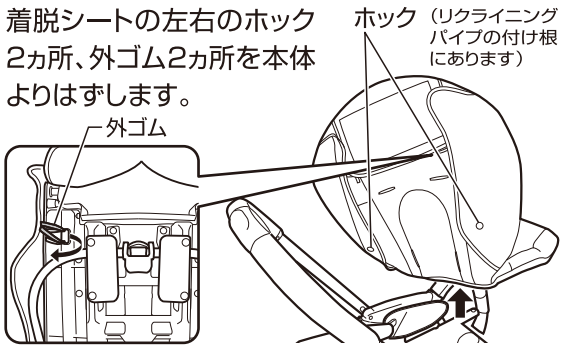
着脱シートは取りはずしてお手入れできます。（お手入れ方法は 13 ページ参照）

1．股ベルトを引き抜きます。

着脱シートより股ベルトを引き抜きます。
穴に対してバックルを縦方向に入れると取り出しやすいです。

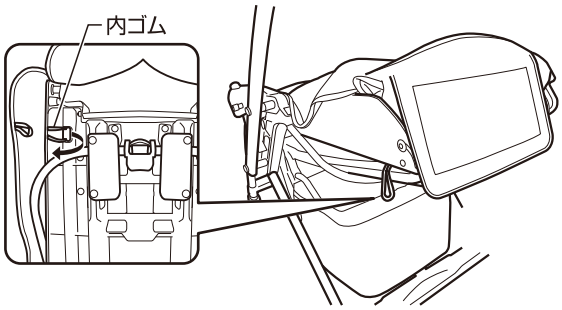
2．ホック、外ゴムをはずします。

着脱シートの左右のホック2ヵ所、外ゴム2ヵ所を本体よりはずします。



3．内側のゴムをはずします。

着脱シートの左右の内側についている内ゴム２ヵ所を本体よりはずします。

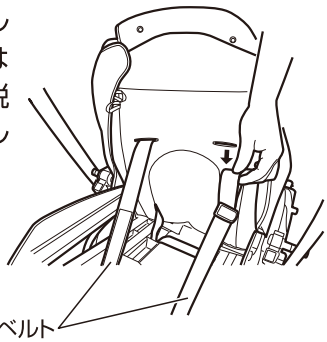


4．注意表示カバーのホックをはずします。

着脱シート裏側に付いている警告表示シート内側のホック 2ヵ所をはずします。

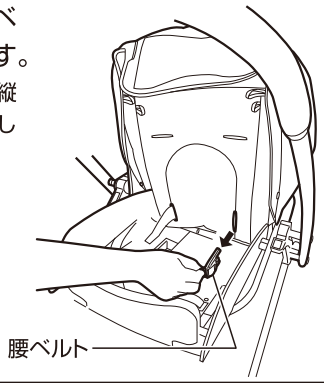
5．肩ベルトを引き抜きます。

差し込みバックルより肩ベルトをはずしてから、着脱シートより肩ベルトを引き抜きます。



6．腰ベルトを引き抜きます。

着脱シートより腰ベルトを引き抜きます。
穴に対してバックルを縦方向に入れると取り出しやすいです。

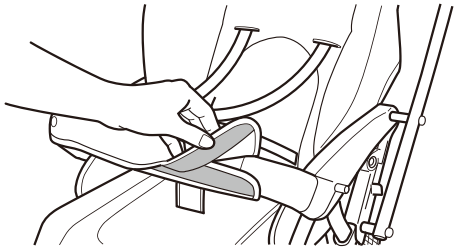


⚠ 注 意	●着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。 ●やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。 ●着脱シートを取り付ける際に、ゴムベルト、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れなどの原因となります。

ガードカバーのはずしかた

※ガードカバーの取付けかたはこの逆の手順で行ないます。

ガードカバーについているマジックテープをはがします。
ガードカバーは取りはずしてお手入れできます。
（お手入れ方法は 13 ページ参照）



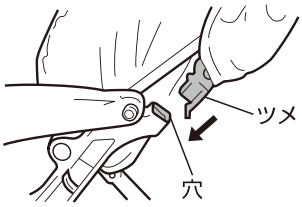
〈取り付けかたは逆の手順です〉※マジックテープを重ねた位置は下側に向けてください。

幌の使いかた

※幌付き製品に限ります。屋外では幌付きでの使用をおすすめします。

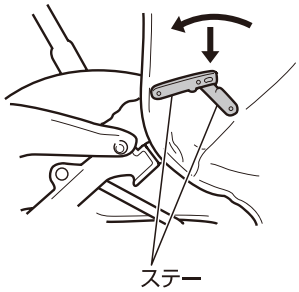
取り付けかた

幌の差し込み部分のツメを、穴に差し込みます。ツメがかかって固定されます。



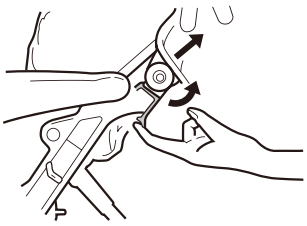
広げかた

前2本のステー（中骨）を持ってひろげ、左右の幌レバーの関節部を押し下げロックします。



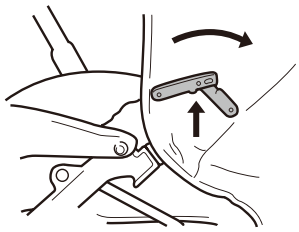
取りはずしかた

差し込み部分のツメを指ではずしながら、引き抜きます。



たたみかた

幌レバーの関節部を下から押し上げてから、たたみます。



⚠ 注 意

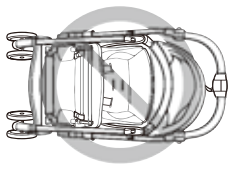
- ●幌は一番前まで倒れません。無理に倒すとはずれたり破れたりするおそれがあります。
- ●ベビーカーを折りたたむときは、必ず幌を折りたたんでからにしてください。幌を開いたまま無理にベビーカーを折りたたもうとすると破損の原因になります。

保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

⚠ 注 意

- ●火の近くや高温になる場所での保管は避けてください。また、荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- ●幌付きで保管される場合は、横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。幌が変形する原因になります。



日常のお手入れ方法

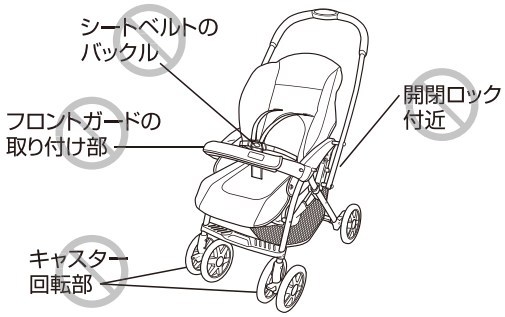
車体、着脱シート、ガードカバー、カゴ、幌の清掃

●本品はお子さまを寝かせて使用するものです。設置後は定期的に清掃し清潔に保ってください。
●清潔な布で乾ぶきしてください。汚れが落ちにくい場合は、水あるいはぬるま湯をふくませてしぼった布でふき取り、そのあと乾ぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めたもので水ぶきし、洗剤が残らないように再度全体を水拭きしたあと仕上げに乾拭きしてください。

⚠注 意	●清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変色、劣化の原因となります。 ●本品は縫製部含めて洗濯はできません。洗濯は破損、変色、劣化の原因となります。

注油について

●きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量、注油してください。注油するときは、注油箇所の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
●右に示す箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



⚠注 意	●お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

点検・修理・交換部品について

⚠警 告	●製品を安全にお使いいただくために、下記の日常点検をお願いします。点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大な事故の原因となります。

日常点検は、毎日もしくは毎週に、目視および手感で行う点検です。工具は使用しません。

日常点検の確認方法

①走行は正常に作動しますか?キャスターおよび車輪の回転はスムーズですか?異常な振動はありませんか?
②キャスターロックは正常に作動しますか？
③ストッパーは左右とも正常に作動しますか？
④折りたたみ開閉ロックは正常に作動しますか？
⑤バックルやガードはカチッと音がして締まりますか？
⑥製品の異常なゆれ、部品のはずれ、劣化や破れ、破損ははありませんか？
⑦折りたたみ防止テープを貼った場合、左右ともきちんと貼られていますか？
⑧幌付きの場合は、幌が正常に折りたためますか？

点検時に異常を発見しましたら、ただちに使用を中止し、販売代理店または15ページのサービスセンターまでご連絡ください。

⚠注 意	●危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。

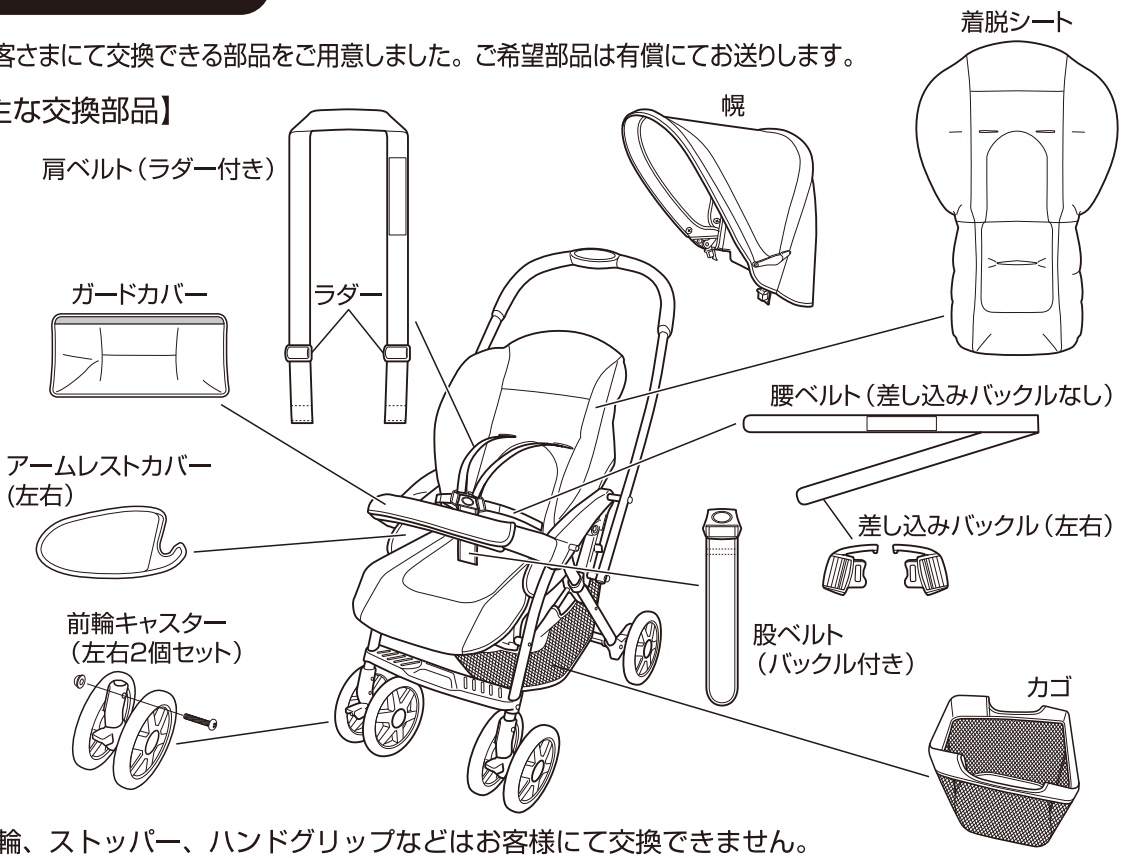
修理について

1. 部品の欠品、不良加工などメーカーの責任によるものは無料修理します。
2. 以下の項目は無料修理から除外されます。（詳細は 15 ページの保証書参照）
   - A. プラスチックやフレームの自然劣化
   - B. 着脱シートやガードカバーの傷や破れ
   - C. 間違った使いかたや、手入れ不良によるもの
   - D. 車輪の自然摩耗
   - E. 施設側および使用者の改造によるもの
   - F. 災害や事故などによるもの
3. 一度ご使用になったものは、原則として無償ではお取り替えできません。
4. 内容によっては修理できない場合もありますのでご了承ください。

交換部品について

お客さまにて交換できる部品をご用意しました。ご希望部品は有償にてお送りします。

【主な交換部品】



後輪、ストッパー、ハンドグリップなどはお客様にて交換できません。
詳しくは販売代理店または 15 ページのサービスセンターまでお問い合わせください。

製品仕様

品　　名	施設用ベビーカー SC41	材　　質	本　　体：アルミ、合成樹脂 布　　地：ポリエステル・綿 シート部：合成皮革（ウレタンレザー）
品　　番	SC41G：グレー　SC41GH：グレー幌付き SC41R：レッド　SC41RH：レッド幌付き	耐 用 年 数	３年（布地、シート部は除く）
使用対象年齢	生後 1ヵ月～24ヵ月までの乳幼児	補 修 部 品 保 管 期 間	生産終了後５年間
製 品 質 量	5.7kg（幌付き 6.1kg）		
製 品 寸 法	使用時 / W510 × D825 × H985mm 折畳時 / W510 × D325 × H990mm	※製品の仕様・価格は予告なく変更することがありますのでご了承ください。	

※当社は環境ISO14001に基づいた環境配慮を行っております。製品を廃棄される場合は、廃棄処理法に基づき適正な廃棄をお願いいたします。

保 証 書

製 品 名 （品番）	施設用ベビーカーSC41 （SC41）	ロットNo. 背面後ろ側に添付 製品名 施設用BC SC41 ロットNo. X－ ロットNo.をご記入ください。
保証期間	納品から通常、 正規のご使用下で1年間	

お 客 様	お名前
	ご住所　〒　－ TEL.（　）　－
販売業者	
納 品 日	年　月　日

取扱説明書および本体警告表示シートなどの記載内容に従った正常な使用状態で故障した場合、本書を提示の上販売代理店または下記コンビウィズ株式会社にご連絡ください。保証期間内にて無償で修理いたします。

●保証期間中であっても、次の場合は有料修理となります。
①本来の使用用途以外でのご使用に起因する故障。
②適切な維持管理を怠ったことに起因する故障。
③メーカー、販売元が指定する業者以外の修理・調整・改造に起因する破損・故障。
④保管環境の影響など本製品以外の外部影響に起因する破損・故障。
⑤ご購入後の輸送、落下などに起因する破損・故障。
⑥経年劣化、消耗部品の過酷な使用状況による故障。
⑦天災／天変地異（火災、落雷、噴火、洪水、津波、地震）、戦争／暴動他等による不具合。

●上記保証は日本国内においてのみ有効です。

※日常点検の結果、不具合発生が認められた場合は、上記範囲内での保証とさせていただきます。

お問い合わせ先

製造元 コンビ株式会社
〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7

製品等に関するお問い合せは、販売代理店または下記宛にご連絡ください。

販売元 コンビウィズ株式会社
東京営業所　〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7
TEL:03-5828-7631　FAX:03-5828-7630
大阪営業所　〒540-0026　大阪市中央区内本町2-4-16
TEL:06-6942-0384　FAX:06-6942-0398
サービスセンター　TEL:03-5806-4621　FAX:03-5828-7630
[受付時間]祝祭日を除く月～金 10:00～17:00
http:www.combiwith.co.jp/